

ツェルマット滞在とハイキングの旅

昨年に引き続き、ツェルマットに連泊滞在、今年のテーマは「ハイキング」です

昨年は約100名ものお客様に「ツェルマット滞在の旅」にご参加いただき、展望台からの雄大な景色を瞬に焼き付け、喜んでご帰国いただきました。ツェルマットにもオーバーツーリズムの波は押し寄せていますが、お陰様で弊社の場合は前年の実績が有り、かつ、観光局の協力のもと、昨年ご好評であった、駅前という抜群の立地を誇るホテル「アンバサダー」にて、しかも、約50mの広さを誇るバスタブ付きのスイート・ルームにて、5連泊確保した上での発表となりました。

今年のテーマは「ハイキング」。ツェルマットから気楽に訪れる展望台には勿論ご案内しますが、今年は、ツェルマットが誇る大自然を、ご自身の足で歩いて楽しんでいただきたいと思います。逆さマッターホルンが浮かび上がるリッフェルゼーに立ち寄れる定番の「ローテンボーデン(2815m)からリッフェルベルク(2582m)へ向かうコース」や、3つの湖に立ち寄りながら「ブラウヘルト(2571m)からスネガ・パラダイス(2288m)へ向かうコース」など、自然を愛でながらの「ハイキング」にご案内。ツェルマット周辺には、その他にもハイキングコースが幾つもあり、「歩いて」スイスを楽しむには最適な村と申せましょう。ご滞在中有効なツェルマット・ピークパスもご用意しておりますので、乗り物を巧みに活用しながら、ハイキングをお楽しみください。添乗員もお手伝いさせていただきます。

ツェルマットを選んだ9つの理由

- ① 酷暑の日本を抜け出して、避暑を楽しめる過ごしやすい気候(標高1620メートル)
- ② スイスの中で最も晴天率が高い
- ③ レストランや土産屋、スーパー・マーケットが徒歩圏にある、ほど良い大きさの村
- ④ 村内を循環する無料バスが運行している
- ⑤ 展望台に向かう登山鉄道やロープウェイの駅が村内にある
- ⑥ 初級～上級まで、大迫力を満喫できる多数のハイキングコースがある
- ⑦ 昨年もご好評であった駅前という立地の良いホテルがある
- ⑧ ツェルマット観光局に弊社と親交のあるスタッフが在籍
- ⑨ 360度を自然に囲まれた、治安の良い村



皆様のツェルマット訪問を歓迎します



ツェルマット観光局日本代表
金子秀樹氏

ツェルマットでは、登山鉄道からゆっくりマッターホルンの景色を楽しんだり、富士山より高い展望台からモンブランやユングフラウまで眺望することができます。また、ハイキングコースも充実していますので、ご自身の足で歩きながら、ツェルマットが誇る大自然をご満喫いただきたいものです。一週間滞在しても決して飽きることのない魅力一杯のツェルマットより皆様のお越しを歓迎申し上げます。



スイス政府観光局 日本支社長
パオロ・ルナルディ氏



ツェルマット観光局 権局長
ダニエル・ルッゲン氏

ツェルマットはガソリン車の走行が禁止されており、道を行き交う電動車も少ないので、他のスイスの保養地に比べて、静かにご滞在いただけることでしょう。そして、空気が綺麗で美味しいです。滞在中は、是非、目覚めたら窓を開け、朝の清々しいツェルマットの空気をたっぷり吸ってから、一日をお迎えください。さらに、水も美味しいので、ツェルマットではミネラルウォーターを買う必要はないですよ!

ツェルマットの住人は「年間300日は晴れ間が差すよ」と、わが村ツェルマットの晴天率の高さを誇らしげに語ります。ツェルマットを囲む4,000m級の山々が降水雲をほぼ寄せ付けないため、降雨量が少なく、湿気も寄せ付けません。また、私のお勧めは教会橋(日本人橋)から望むマッターホルンの朝焼け。再び、日本のお客様が多くツェルマットを訪れ、橋の上からツェルマットの雄姿をご覧いただきたいものです。

避暑にぴったりのツェルマットでの5連泊をぜひご体験ください。



晴天率の高さが自慢のツェルマット！

ツェルマットの住人は「年間300日は晴れ間が差すよ」と、わが村ツェルマットの晴天率の高さを誇らしげに語ります。少々大袈裟かもしれません、スイス気象庁のデータにも、ツェルマットの年間日照時間が62%とありますので、すなわち延べ226日は晴れている計算で、ともすると、「年間300日は晴れ間が差すよ」という自慢話も、あながち間違ひではないようです(参考までに、イタリアと国境を接する湖水地方があるティチーノ州は55%、スイス東端の高級保養地サン・モリッツを擁すエンガディン地方は56%の年間日照時間です)。

尚、1日の中でころころ天候が変わりやすいのもまたツェルマットの天気の特徴で、雨量こそ少ないものの、雨がさっと降ることはしばしばございます。(ツェルマット観光局より情報提供)



夏でもからつと爽やか、「避暑計画」にぴったり！

ツェルマットを囲む4,000メートル級の山々が降水雲をほぼ寄せ付けないため、降雨量が少なく、湿気も寄せ付けません。乾燥していて、清々しく過ごせることに加え、たとえ気温が上がったとしても日陰に入ると想いのほかひんやりしています。

月	平均気温	ツェルマット	東京
6月	最高	14°C	25°C
	最低	5°C	20°C
7月	最高	17°C	29°C
	最低	7°C	24°C
8月	最高	16°C	31°C
	最低	7°C	25°C



ツェルマットってどんな村？

4,000m級の名山に取り囲まれており、1年を通じて、雄大なアルプスの山々や氷河を存分に満喫できるでしょう。ゴルナーグラートやロートホルン、スネガ、クライン・マッターホルンなど、名峰や氷河が連なる絶景が広がる展望台へはロープウェイや登山鉄道で、簡単にアクセスできます。1988年からアルプスの環境を守るために始まったガソリン車乗り入れ禁止リゾート「GaST」のひとつ。村内の交通は電気自動車または馬車でカバーされています。ツェルマットまではブリークから結ぶマッターホルン・ゴッタルド鉄道のほか、自動車、バスは手前のテーシュ駅の駐車場に置き、シャトル列車でのアクセスとなります。

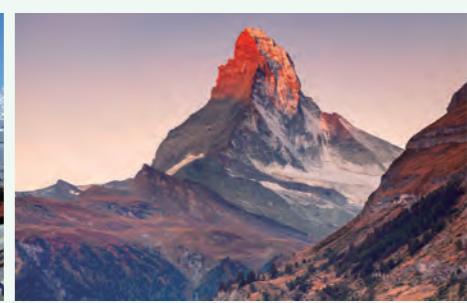
1997年からツェルマット村は妙高市(旧・妙高高原町)と姉妹都市。氷河特急も走るツェルマットまで結ぶ鉄道とゴルナーグラート鉄道を運行する「マッターホルン・ゴッタルド鉄道」は、富士山へ結ぶ列車として知られる富士急行と1991年から姉妹鉄道になっています。(スイス政府観光局のホームページより、一部抜粋)



路地裏には昔ながらの建物も残っています



登山鉄道でゴルナーグラート展望台を訪れます



朝焼けに染まるマッターホルン (イメージ)

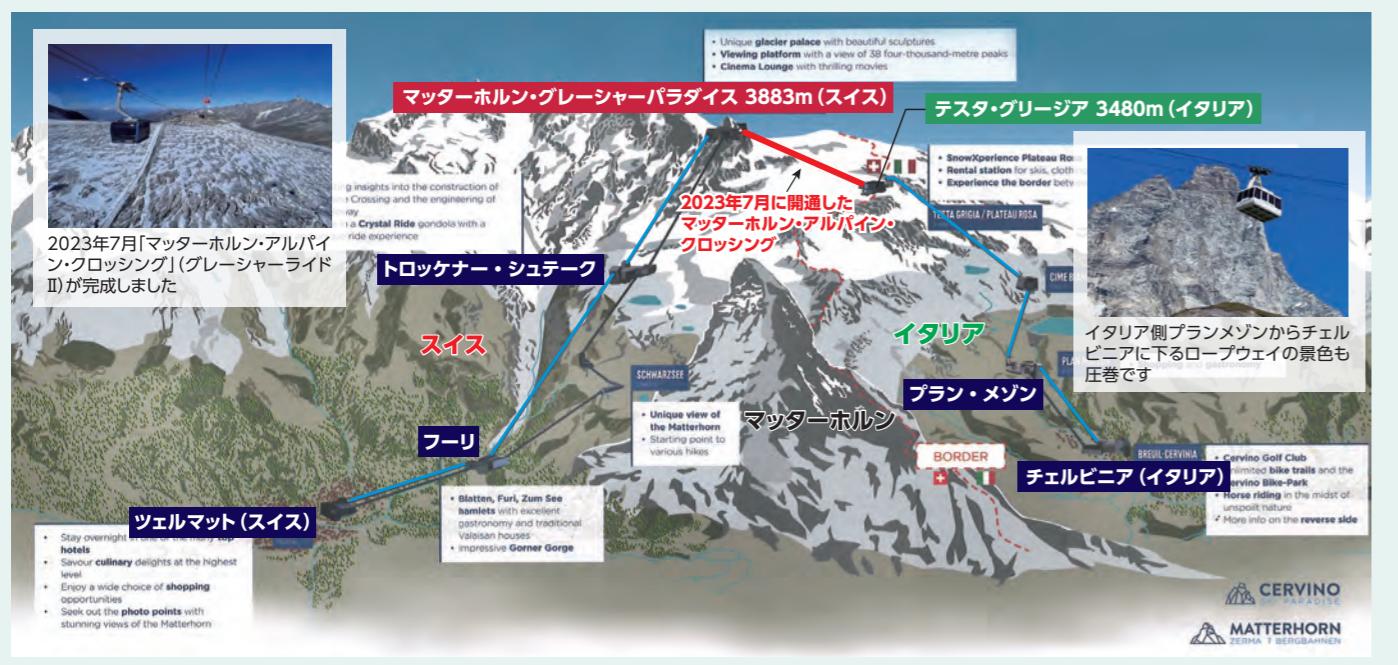
「ツェルマット・ピーク・パス」を使って展望台へ。ハイキングも楽しめます

「ツェルマット・ピーク・パス」は、ツェルマット地区のロープウェイや登山鉄道などが乗り放題になる便利な交通パスです。特にアルプスの展望台からの眺望は、天候によっても左右されるため、直前に天候に合わせて、自由に訪問地を決めて利用できるパスの存在が助かります。スネガやゴルナーグラート、クライン・マッターホルン（グレーシャーパラダイス）など、ツェルマット周辺には多くの展望台があり、気軽に何度でも利用できるのが魅力です。ご参加の皆様にはお一人様1枚ずつ、4日間有効なカードをお渡しします。ご活用ください。



スイス～イタリアを結ぶ、注目の「アルパイン・クロッシング」 イタリア・チェルビニアまでの日帰り旅行も可能です

マッターホルン北山麓のツェルマット、そして南山麓のイタリア・チェルビニア。国境と山を越えて2つの村を行き来するロープウェイ「マッターホルン・アルパイン・クロッシング」（グレーシャーライドII）が、2023年7月に完成しました。ツェルマット滞在中に、この最新ロープウェイを使ってアルプスの絶景を満喫しながら、イタリア側チェルビニアへの日帰り旅行も可能です。（※パス適用区間外のイタリア側のロープウェイ代は実費となります。）



ロープウェイを使えばイタリア側のマッターホルン（モンテ・チェルビーノ）の麓チェルビニアの村まであっという間です。

ツェルマット・ピーク・パスを利用してツアーリー中にご案内する展望台とハイキングコース

展望台① ゴルナーグラート展望台 (3,089m)

ホテルから至近、ツェルマット駅の向かいにある登山鉄道駅から出発します。ゴルナーグラート展望台まで、登山鉄道からの車窓に広がる景色は素晴らしい、ツェルマットの村を俯瞰しながら標高をさらに上げていくと、滝やカラマツ林、氷河などが現れます。展望台からはマッターホルンは勿論、モンテ・ローザやリスカムといった名峰、そして雄大な氷河のパノラマが広がります。



モンテローザから名峰マッターホルンまで4,000m級の山々が連なる絶景を満喫できます（イメージ）

復路は、ハイキングにご案内

ローテンボーデン～リッフェルベルク

ゴルナーグラート展望台を訪ねた後は、途中駅のローテンボーデン（2,815m）からリッフェルベルク（2,582m）までの、約2.7キロ（約1時間）の初心者向けハイキングコースにご案内します。途中立ち寄るリッフェルゼーでは、天候がよければ水面に映える逆さマッターホルンをご覧いただけます。



逆さマッターホルンを映すリッフェルゼー（添乗員撮影）

展望台② スネガ・パラダイス (2,288m) とロートホルン・パラダイス (3,103m)

村から地下ケーブルで約3分、あっという間に到着するスネガ・パラダイスにてロープウェイに乗り換え、ロートホルン・パラダイスを目指します。ここからは、マッターホルンの最も美しい姿と称されるヘルンリッジを正面からご覧いただけます。

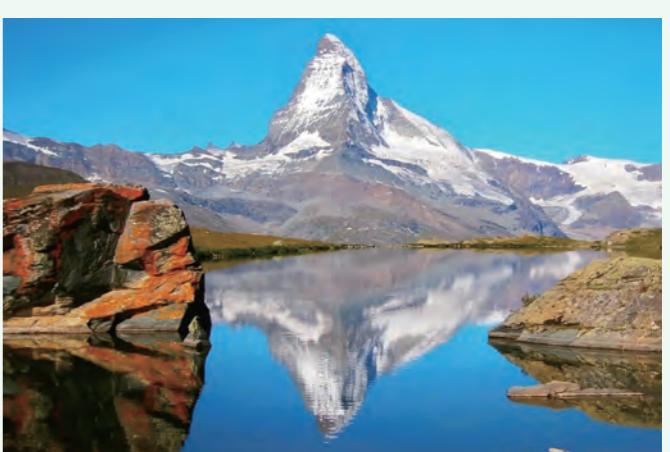


空中遊覧を楽しみながらロートホルン展望台へ（イメージ）

復路は、ハイキングにご案内

ブラウヘルト～スネガ

ロートホルンを訪ねた後は、途中駅のブラウヘルト（2,571m）まで移動し、スネガ（2,288m）まで約4.4キロ（約1.5時間）のハイキングコースを歩きます。下りが中心のコースで、シュテリー、グリンジ、ライという3つの湖に立ち寄ります。なかでもシュテリー湖では、逆さマッターホルンが湖面に映える様子をご覧いただけるかもしれません。



条件が整えば、シュテリー湖でも逆さマッターホルンがご覧いただけるかもしれません
(写真提供: ツェルマット観光局 金子様)

